

# 山代温泉 (7号源泉、8号源泉) 温泉成分・浴用の禁忌症適応症

源泉名	山代温泉 (7号源泉、8号源泉)		
湧出地 (採水地)	山代温泉7号源泉 湧出地：石川県加賀市桂谷町ツ99番2 山代温泉8号源泉 湧出地：石川県加賀市山代温泉大和町143番2 (採水地：石川県加賀市山代温泉15字52の甲(既設中継槽))		
泉質	カルシウム・ナトリウム—硫酸塩温泉(低張性・弱アルカリ性・高温泉)		
泉温	46.4 °C	調査日	平成28年2月2日
pH値	8.3 (湧出地)	分析終了日	平成28年2月15日
分析機関	温泉成分分析機関 石川県第3号 石川県金沢市東蚊爪町1-19-4 株式会社 エオネックス 代表取締役 市山 勉		

## 本泉1kg中に含有する成分及び分量

陽イオン 成分名	分量(mg)	陰イオン 成分名	分量(mg)
リチウムイオン(Li <sup>+</sup> )	<0.1	ふっ化物イオン(F <sup>-</sup> )	2.2
ナトリウムイオン(Na <sup>+</sup> )	192.8	塩化物イオン(Cl <sup>-</sup> )	59.8
カリウムイオン(K <sup>+</sup> )	1.9	臭化物イオン(Br <sup>-</sup> )	0.1
アンモニウムイオン(NH <sub>4</sub> <sup>+</sup> )	0.1	よう化物イオン(I <sup>-</sup> )	<0.1
マグネシウムイオン(Mg <sup>2+</sup> )	<0.1	硫化水素イオン(HS <sup>-</sup> )	<0.1
カルシウムイオン(Ca <sup>2+</sup> )	182.5	硫黄イオン(S <sup>2-</sup> )	<0.1
ストロンチウムイオン(Sr <sup>2+</sup> )	0.8	チオ硫酸イオン(S <sub>2</sub> O <sub>3</sub> <sup>2-</sup> )	<0.1
バリウムイオン(Ba <sup>2+</sup> )	<0.1	硫酸イオン(SO <sub>4</sub> <sup>2-</sup> )	756.5
アルミニウムイオン(Al <sup>3+</sup> )	<0.1	炭酸水素イオン(HCO <sub>3</sub> <sup>-</sup> )	12.9
マンガンイオン(Mn <sup>2+</sup> )	<0.1	炭酸イオン(CO <sub>3</sub> <sup>2-</sup> )	4.8
鉄(II)イオン(Fe <sup>2+</sup> )	<0.1		
鉄(III)イオン(Fe <sup>3+</sup> )	<0.1		
陽イオン 計	378.3	陰イオン 計	836.5
非解離成分 成分名	分量(mg)	溶存ガス成分 成分名	分量(mg)
メタけい酸(H <sub>2</sub> SiO <sub>3</sub> )	39.7	遊離二酸化炭素(CO <sub>2</sub> )	2.7
メタほう酸(HBO <sub>2</sub> )	2.5	遊離硫化水素(H <sub>2</sub> S)	<0.1
メタ亜ひ酸(HAsO <sub>2</sub> )	<0.1		
非解離成分 計	42.3	溶存ガス成分 計	2.7
合計	分量(g)	合計	分量(g)
溶存物質(ガス性のものを除く)	1.257	溶存成分総計	1.260
その他の微量成分 成分名	分量(mg)	その他の微量成分 成分名	分量(mg)
総水銀(Hg)	0.0005未満		
総砒素(As)	0.01未満		
銅(Cu)	0.01未満		
鉛(Pb)	0.01未満		

## 成分に影響を与える項目及び内容

使用位置における温度	41°C
加水利用	あり (温泉の供給量の不足を補うため)
加温利用	あり (適温を維持するため)
循環利用	あり (温泉資源の確保と衛生管理のため)
入浴剤等の添加	なし
消毒処理	あり (衛生管理のため塩素消毒を実施)

浴用の禁忌症	一般的禁忌症	病気の活動期(特に熱のあるとき)、活動性の結核、進行した悪性腫瘍又は高度の貧血など身体衰弱の著しい場合、少し動くと息苦しくなるような重い心臓又は肺の病気、むくみのあるような重い腎臓の病気、消化管出血、目に見える出血があるとき、慢性の病気の急性増悪期
	泉質別禁忌症	該当項目なし
浴用の適応症	一般的適応症	筋肉若しくは関節の慢性的な痛み又はこわばり(関節リウマチ、変形性関節症、腰痛症、神経痛、五十肩、打撲、捻挫などの慢性期)、運動麻痺における筋肉のこわばり、冷え性、末梢循環障害、胃腸機能の低下(胃がもたれる、腸にガスがたまるなど)、軽症高血圧、耐糖能異常(糖尿病)、軽い高コレステロール血症、軽い喘息又は肺気腫、痔の痛み、自律神経不安定症、ストレスによる諸症状(睡眠障害、うつ状態など)、病後回復期、疲労回復、健康増進
	泉質別適応症	きりきず、末梢循環障害、冷え性、うつ状態、皮膚乾燥症

## 浴用の方法及び注意

### ア. 入浴前の注意

- (ア) 食事の直前、直後及び飲酒後の入浴は避けること。酩酊状態での入浴は特に避けること。
- (イ) 過度の疲労時には身体を休めること。
- (ウ) 運動後30分程度の間は身体を休めること。
- (エ) 高齢者、子供及び身体の不自由な人は、1人での入浴は避けることが望ましいこと。
- (オ) 浴槽に入る前に、手足から掛け湯をして温度に慣らすとともに、身体を洗い流すこと。
- (カ) 入浴時、特に起床直後の入浴時などは脱水症状等にならないよう、あらかじめコップ一杯程度の水分を補給しておくこと。

### イ. 入浴方法

- (ア) 入浴温度  
高齢者、高血圧症若しくは心臓病の人又は脳卒中を経験した人は、42°C以上の高温浴は避けること。
- (イ) 入浴形態  
心肺機能の低下している人は、全身浴よりも半身浴又は部分浴が望ましいこと。
- (ウ) 入浴回数  
入浴開始後数日間は、1日当たり1~2回とし、慣れてきたら2~3回まで増やしてもよいこと。
- (エ) 入浴時間  
入浴温度により異なるが、1回当たり、初めは3~10分程度とし、慣れてきたら15~20分程度まで延長してもよいこと。

### ウ. 入浴中の注意

- (ア) 運動浴を除き、一般に手足を軽く動かす程度にして静かに入浴すること。
- (イ) 浴槽から出る時は、立ちくらみを起こさないようにゆっくり出ること。
- (ウ) めまいが生じ、又は気分が不良となった時は、近くの人に助けを求めつつ、浴槽から頭を低い位置に保ってゆっくり出て、横になって回復を待つこと。

### エ. 入浴後の注意

- (ア) 身体に付着した温泉成分を温水で洗い流さず、タオルで水分を拭き取り、着衣の上、保温及び30分程度の安静を心がけること(ただし、肌の弱い人は、刺激の強い泉質(例えば酸性泉や硫黄泉等)や必要に応じて塩素消毒等が行われている場合には、温泉成分等を温水で洗い流した方がよいこと。)
- (イ) 脱水症状等を避けるため、コップ一杯程度の水分を補給すること。

### オ. 湯あたり

温泉療養開始後おおむね3日~1週間前後に、気分不快、不眠若しくは消化器症状等の湯あたり症状又は皮膚炎などが現れることがある。このような状態が現れている間は、入浴を中止するか、又は回数を減らし、このような状態からの回復を待つこと。

### カ. その他

浴槽水の清潔を保つため、浴槽にタオルは入れないこと。



甲第 3313 号

# 温泉分析書

温泉分析申請者 住所 石川県加賀市山代温泉北部3丁目70番地  
氏名 山代温泉配湯事業協同組合  
理事長 多々見 健一

源泉名及び湧出地：源泉名 山代温泉7号源泉

湧出地 石川県加賀市桂谷町ッ99番地

## 湧出地における調査及び試験成績

- (イ)調査者名：所属 中央温泉研究所 氏名 鈴木 絢香
- (ハ)調査年月日：平成19年9月3日 (ニ)試験年月日：平成19年9月3日
- (ヘ)湧出量：280ℓ/min(掘さく・動力揚湯)
- (チ)pH値：8.9 (ガラス電極法)
- (ヌ)電気伝導率：107.5 mS/m(25℃)

- (ロ)試験者名：分析機関 中央温泉研究所 氏名 鈴木 絢香
- (ホ)泉温：47.4℃(調査時における気温 22℃)
- (ト)知覚的試験：無色澄明無味無臭
- (リ)ラドン(Rn)含有量： — Bq/kg ( — ×10<sup>-10</sup> Ci/kg, — マッヘ単位)

## 試験室における試験成績

- (イ)試験者名：分析機関 中央温泉研究所 氏名 滝沢 英夫 鈴木 絢香
- (ハ)知覚的試験：無色澄明無味殆ど無臭
- (ホ)pH値：9.08 (ガラス電極法)

- (ロ)分析終了年月日：平成19年9月28日
- (ニ)密度：0.9990 g/cm<sup>3</sup>(20℃/4℃)
- (ヘ)蒸発残留物：0.869 g/kg (110℃)

## 試料 1 kg 中の成分・分量及び組成

### (イ) 陽イオン

成分	ミリグラム	ミリバル	ミリバル%
ナトリウムイオン(Na <sup>+</sup> )	114.0	4.96	43.06
カリウムイオン(K <sup>+</sup> )	0.1	0.00	0.00
アンモニウムイオン(NH <sub>4</sub> <sup>+</sup> )	0.1	0.01	0.09
マグネシウムイオン(Mg <sup>2+</sup> )	0.1未満	—	—
カルシウムイオン(Ca <sup>2+</sup> )	130.8	6.53	56.68
アルミニウムイオン(Al <sup>3+</sup> )	0.2	0.02	0.17
鉄(Ⅱ)イオン(Fe <sup>2+</sup> )	0.1未満	—	—
鉄(Ⅲ)イオン(Fe <sup>3+</sup> )	—	—	—
マンガン(Ⅱ)イオン(Mn <sup>2+</sup> )	0.1未満	—	—
陽イオン計	245.2	11.52	100

### (ロ) 陰イオン

成分	ミリグラム	ミリバル	ミリバル%
フッ化物イオン(F <sup>-</sup> )	1.5	0.08	0.70
塩化物イオン(Cl <sup>-</sup> )	19.9	0.56	4.93
硫化水素イオン(HS <sup>-</sup> )	0.3	0.01	0.09
硫酸イオン(SO <sub>4</sub> <sup>2-</sup> )	496.8	10.34	91.10
炭酸水素イオン(HCO <sub>3</sub> <sup>-</sup> )	19.4	0.32	2.82
炭酸イオン(CO <sub>3</sub> <sup>2-</sup> )	1.3	0.04	0.35
陰イオン計	539.2	11.35	100

### (ハ) 遊離成分

非解離成分	ミリグラム	ミリモル
メタケイ酸(H <sub>2</sub> SiO <sub>3</sub> )	37.9	0.49
メタホウ酸(HBO <sub>2</sub> )	1.3	0.03
非解離成分計	39.2	0.52

溶存物質計(ガス性のものを除く) 0.824 g/kg

溶存ガス成分	ミリグラム	ミリモル
遊離二酸化炭素(CO <sub>2</sub> )	0.1未満	—
遊離硫化水素(H <sub>2</sub> S)	0.1未満	—
溶存ガス成分計	—	—

成分総計： 0.824 g/kg

### (ニ) その他の微量成分 (mg)

総水銀 (Hg)：0.0005未満 銅 (Cu)：0.05未満 鉛 (Pb)：0.05未満  
 総ヒ素 (As)：0.007 亜鉛 (Zn)：0.01 カドミウム (Cd)：0.01未満

## 泉質

アルカリ性単純温泉 (低張性・アルカリ性・高温泉)

作成年月日及び作成者

平成19年9月28日

東京都豊島区高田3丁目42番10号

財団法人

登録番号 14健地衛第1号

中央温泉研究所

理事所長 甘露寺

泰雄



# 温泉分析書別表

甲第3313号-別表

1. 源泉名 山代温泉7号源泉
2. 湧出地 石川県加賀市桂谷町ツ9番地
3. 温泉分析申請者 石川県加賀市山代温泉北部3丁目70番地  
山代温泉配湯事業協同組合 理事長 多々見 健一
4. 判定 アルカリ性単純温泉（低張性・アルカリ性・高温泉）
5. 源泉での分析結果により決められた療養泉分類に基づく禁忌症、適応症等は環境庁自然保護局長発（昭和57年5月25日）環自施第227号及び第228号によれば次のとおりである。  
※禁忌症及び適応症の揭示は利用許可がおりたのち行うこと。

## 【浴用の禁忌症】

### 温泉の一般的禁忌症

急性疾患（特に熱のある場合）、活動性の結核、悪性腫瘍、重い心臓病、呼吸不全、腎不全、出血性疾患、高度の貧血、その他一般に病勢進行中の疾患、妊娠中（特に初期と末期）。

### 泉質別禁忌症

該当項目なし。

## 【浴用の適応症】

### 療養泉の一般的適応症

神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、くじき、慢性消化器病、痔疾、冷え性、病後回復期、疲労回復、健康増進。

### 泉質別禁忌症

該当項目なし。

## 浴用の一般的注意事項

- ア. 温泉療養を始める場合は、最初の数日の入浴回数を1日当り1回程度とすること。その後は1日当たり2回ないし、3回までとすること。
- イ. 温泉療養のための必要期間は、おおむね2ないし3週間を適当とすること。
- ウ. 温泉療養開始後おおむね3日ないし1週間前後に湯あたり（湯さわり又は浴場反応）が現われることがある。「湯あたり」の間は入浴回数を減じ又は入浴を中止し、湯あたり症状の回復を待つこと。
- エ. 以上のほか入浴には次の諸点について注意すること。
  - (ア) 入浴時間は入浴温度により異なるが、初めは3分ないし10分程度とし、慣れるにしたがって延長してもよい。
  - (イ) 入浴中は運動浴の場合は別として一般には安静を守る。
  - (ウ) 入浴後は身体に付着した温泉の成分を水で洗い流さない（湯ただれを起しやすい人は逆に浴後真水で身体を洗うか温泉成分を拭き取るのがよい）。
  - (エ) 入浴後は湯冷めに注意して一定時間の安静を守る。
  - (オ) 次の疾患については原則として**高温浴（42℃以上）**を禁忌とする。
    - イ. 高度の動脈硬化症
    - ロ. 高血圧症
    - ハ. 心臓病
  - (カ) 熱い温泉に急に入るとめまい等を起こすことがあるので十分注意をする。
  - (キ) 食事の直前・直後の入浴は避けることが望ましい。
  - (ク) 飲酒しての入浴は特に注意する。

（注）この別表は温泉法第14条による揭示に必要な参考資料となるものである。

## 別表作成年月日及び作成者

平成19年9月28日

登録番号 14健地衛第1号

東京都豊島区高田3丁目42番10号 財団法人 中央温泉研究所 理事 所長 甘露寺 泰雄